

2025 年 12 月 10 日(水)

シンポジウム

情報交換会

13:30-17:30 《13:15 開場》 17:45-19:00

ハイブリッド形式開催

国立国語研究所 2 階 多目的室・オンライン

# 共同研究の研究成果としての

# 人材育成の可視化

- 13:30-13:35 開会挨拶 前川喜久雄（国立国語研究所・所長）
- 13:35-14:20 趣旨説明と各機関からの報告  
井上雄介（国立国語研究所 IR推進室・特任専門職員）  
押海圭一（国文学研究資料館・特任准教授）  
山下瞳（総合地球環境学研究所・特任専門職員）
- 14:25-15:10 招待講演「人文学系研究人材の養成と共同研究？」  
土屋俊（大学改革支援・学位授与機構・名誉教授(元研究開発部長)）
- 15:15-16:00 招待講演「人材育成指標の再考：組織における厚みとチーム貢献に基づく評価枠組みの提案」  
小泉周（北陸先端科学技術大学院大学 副学長/教授）
- 16:10-17:25 総合討論  
登壇者：  
土屋俊，小泉周，押海圭一，山下瞳，  
神作研一（国文学研究資料館・教授），  
小磯花絵（国立国語研究所・副所長/IR推進室長/教授）  
司会・進行：井上雄介
- 17:25-17:30 閉会挨拶 渡部泰明（国文学研究資料館・館長）
- \* 総合討論は現地参加のみで，オンライン配信はございません。
  - \* 総合討論終了後，所内で情報交換会をおこないます。

## 申込

2025 年 12 月 6 日（土）23:59（日本時間）まで下記のウェブサイトからお申し込みください。

短縮 URL

<https://forms.office.com/r/9b18RTApQF>

## 参加費

シンポジウム:無料

情報交換会: 2,000 円



## 招待講演の概要

土屋俊「人文学系研究人材の養成と共同研究？」

「人文学系」という学問分野のくくりがどの範囲を指すかは別にして、おそらくわかりやすい理由によって日本におけるこれらの分野の人材は一般的には伝統的に層が薄いだけでなく、大きく偏っている。このため一人ひとりの研究者は一人ひとりが貴重な存在である。他方、すべての学問分野において、学術研究は本来的に、歴史的にも、同時代的にも「共同研究」である。したがって、一人ひとりの研究者では、それぞれの専門分野における研究も全うできなくて当然である。このように表現すると矛盾して聞こえるが、にもかかわらず、この状況は共存している。この不思議な事態の出来の経緯を検討する。

小泉周「人材育成指標の再考：組織における厚みとチーム貢献に基づく評価枠組みの提案」

人材育成の評価において、論文数などの単純かつ操作可能性の高い指標に依拠することは、必ずしも健全な研究者育成を促さず、むしろ研究倫理の逸脱や質の低下を招く危険を内包している。若手研究者が数値的達成に過度に傾斜することは、ハゲタカジャーナルへの誘導や不正行為の温床となり得るため、その限界を直視する必要がある。本講演では、従来の指標依存を超える新たな視座として、大学評価の文脈で提唱してきた「厚み」の概念を人材育成に適用する可能性を論じる。すなわち、組織として人材層の厚みがいかに形成・拡充されたか、また研究者がチームの一員として果たす貢献がどのように研究力強化へと波及したかを評価の軸とするものである。特に共同利用機関においては、個人業績の集積を超え、研究共同体全体の成長と波及効果を可視化する指標が不可欠である。さらに、私自身、文部科学省人材委員会多様化WGの座長として、多様なキャリアパスの実現を支援する観点からも議論を重ねてきた。本講演では、こうした知見を踏まえ、組織における厚みとチーム貢献に基づく新たな評価枠組みの提案について、皆様と議論したい。

## 招待講演者のプロフィール



土屋俊 東京大学教養学部教養学科卒業。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。文学修士。1992年から千葉大学文学部助教授、教授。2011年から大学評価・学位授与機構（現大学改革支援・学位授与機構）教授。論理学史、言語哲学、心の哲学、情報倫理、文書処理、音声対話、図書館情報学、高等教育質保証等を教育研究等。現在、千葉大学、大学改革支援・学位授与機構名誉教授、授業目的公衆送信補償金等管理協会副理事長。



小泉周 慶應義塾大学医学部卒・医学博士。網膜視覚生理学を専門にハーバード大学でポスドクを経て、自然科学研究機構生理学研究所准教授、同機構特任教授として研究マネジメントや研究力分析に従事。文部科学大臣表彰（2010）等を受賞。2025年より北陸先端科学技術大学院大学副学長・教授として、政策のための科学や大学評価にも深く関与し、THE世界大学ランキング国際アドバイザーボードメンバーを務めている。



## アクセス

### ●多摩モノレール

「立川北駅」乗車（約 3 分）「高松駅」下車、  
徒歩 7 分

### ●立川バス

JR立川駅北口バスのりば 2番 から乗車（約 5 分）、  
「自治大学校・国立国語研究所」下車すぐ

### ●徒歩

「JR立川駅」より徒歩約 20 分

\*駐車場はございません。各交通機関でお越しください。